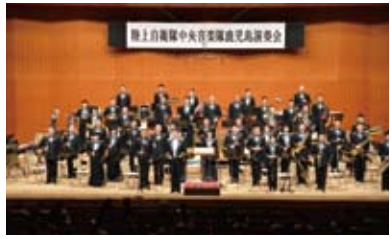


平成29年下半年期 鹿児島地本写真集



7月7日～9日 掃海艇「とよしま」「うくしま」艦艇広報(一般公開)(鹿児島市)



7月12日 陸上自衛隊中央音楽隊演奏会(鹿児島市)



7月22日～23日 自衛隊みなと祭り 練習艦「せとゆき」艦艇広報(一般公開)(鹿児島市)



7月24日～26日 護衛艦「ありあけ」艦艇広報(体験航海)(鹿児島市)



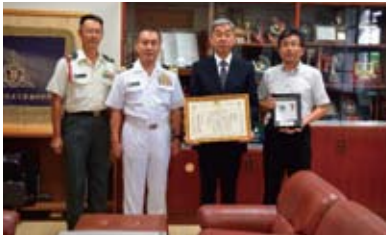
8月2日 鹿児島工業高等学校へ 西部方面総監感謝状贈呈(鹿児島市)



8月26日 陸自CH-47J体験搭乗(奄美市)



9月3日 掃海艇「くろしま」艦艇広報(一般公開)(沖永良部島和泊町)



9月5日 加治木工業高等学校へ 西部方面総監感謝状贈呈(始良市)



9月10日 くれないの塔慰霊式(奄美市らんかん山)



9月11日 試験艦「あすか」艦艇広報(特別公開)(瀬戸内町)



9月20日 南極の水の贈呈式(大崎町立野方小学校)



10月7日～8日 海上自衛隊佐世保音楽隊演奏会(7日:垂水市、8日:曾於市)



10月9日 安心安全まちづくりパレード(鹿児島市)



10月11日 練習艦「せとゆき」「しまゆき」艦艇広報(一般公開)(鹿児島市)



11月2日 おはら祭り夜祭り(鹿児島市)



11月5日 ずんばいよか祭り(鹿児島市)



11月12日 OH-6D殉職隊員慰霊登山(湧水町)



11月21日 平成29年度感謝状贈呈式(鹿児島市)



11月23日 ふれあいフェスタ in 大崎(大崎町)



11月23日～24日 輸送艦「くにさき」艦艇広報(志布志市)



11月25日 川内ポートフェア 水中処分母船5号(一般公開)(薩摩川内市)



11月26日 掃海艇「ししじま」艦艇広報(一般公開)(肝付町)

自衛隊鹿児島地方協力本部は、11月4日(土)及び5日(日)の2日間、佐賀県佐賀市内において行われた「平成29年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会佐賀大会」に参加した鹿児島県隊友会を支援しました。

本研修会は、九州・沖縄地区における自衛隊と各県の隊友会の相互交流を図ることを目的に、毎年各県が持ち回りで実施しているものであり、今年度は佐賀県での開催で、鹿児島県隊友会からは村山会長以下28名の方々が参加されました。

4日の研修会に引き続き行われた意見交換会では、各部隊・地本の指揮官等及び実務担当者が隊友会会員と活発な意見交換を交わし、時には現職とOBの関係となり、久しぶりの再会に思い出

話に花が咲いている光景もありました。

晴天に恵まれた翌5日は、現地研修として佐賀市内におけるパルティンフェスタの見学が行われ、参加者は巨大なバルーンが一緒に飛び立つ光景に感嘆されていました。

今回、援護課長以下援護課員3名が支援を実施しましたが、鹿児島県隊友会会員の方々は、日頃から地域と自衛隊の架け橋として活躍をいただくとともに、自衛隊の各種活動に格別なご支援とご協力をいただいております。自衛隊鹿児島地方協力本部は、今後とも鹿児島県隊友会とあらゆる機会を通じて連携を深めていきたいと思っております。



平成29年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会佐賀大会の様子

援護 平成29年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会佐賀大会支援

平成27年度から新たな試みとして始まった「企業研修」は、現在も継続して実施しており、今年度は鹿児島県内の退職自衛官雇用企業2社の研修を実施しました。

「企業研修」の目的は、本部長、副本部長及び就職援護担当者、定年制及び任期制で退職した自衛官を、再就職で雇用していただいている県内各地の企業を研修し、雇用環境の把握や就業状況の実視、就職援護担当者としての見識及び識能の向上を図り、円滑な就職援護業務の資とするために実施しているものです。

「企業研修」は、四半期ごとに1回、就職援護会同時に併せて実施しており、6月に「医療法人 緑風会 太陽の里(日置市)」、9月に「京セラ株式会社 鹿児島国分

工場(霧島市)を研修しました。

研修参加者は、本部長、副本部長、援護課、鹿児島県・国分・川内援護センター、その他、地本以外では大隅半島エリアの就職援護業務を担任している海上自衛隊鹿屋航空基地就職援護室並びに一般財団法人自衛隊援護協会福岡支部等、約30名で参加しています。

県内各地の企業を研修することは、各地域での雇用環境や就業状況を把握でき、県内の経済状況及び雇用情勢の情報を収集できる等、就職援護業務担当者として個々のスキルアップに大変効果的であり、今後の業務遂行の糧となっております。

今後も、自衛隊鹿児島地方協力本部は、退職自衛官と企業との「架け橋」として、



「京セラ株式会社 鹿児島国分工場(霧島)」での研修の様子

援護 鹿児島県内退職自衛官雇用企業を研修

就職援護業務を促進してまいります。

種子島鉄砲祭りの宣伝パレードに初参加

種子島駐在員事務所

種子島駐在員事務所は、事務所が担当する各市町村において、毎年8月に実施される夏祭りに参加し、約25,000名以上の方々に対して、募集広報を実施しました。昼の部のパレードでは、自衛隊鹿児島地方協力本部のマスコットキャラクターの「まもる君」を中心に制服披露や募集パンフレットの配布を行い、夜の部では、会場内において募集広報ブースを開設し、自衛官適齢者に対し募集活動を実施しました。

特に今年は、念願であった種子島最大のイベントである西之表市の「種子島鉄砲祭り」の宣伝パレードに初参加することができました。パレードでは、自衛隊鹿児島地方協力本部鹿屋地域事務所からも海上自衛官の女性広報員2名が参加し、募集課長(2等陸佐竹迫 孝二)を中心に、観客約15,000名に対し、募集パンフレット等の配布などの広報活動を行いました。沿道に集まった観客の中には、初めて自衛官



種子島鉄砲祭りでの募集広報活動の様子①



種子島鉄砲祭りでの募集広報活動の様子②

の制服姿を見る方も多く、「自衛官の制服は格好良い。」「頑張ってる下さーい。」「また来てね!」等の多数のお言葉をかけて頂きました。また、マスコットキャラクターの「まもる君」は、子供達に大人気であり、写真撮影に追われ、後方の団体からも追いつかれてしまいうる人気がありました。初参加の「種子島鉄砲祭り」は、西之表市民の皆さんに、自衛隊を知っていただく絶好の機会となりました。

種子島駐在員事務所は、今後も地域におけるイベントに積極的に参加し、あらゆる機会を有効に活用し、募集基盤の更なる拡充に繋げていきたいと思います。

募集広報活動新規開拓へ

知覧分駐所

知覧分駐所は、10月8日(日)、南さつま市笠沙町で開催された「第30回マリランド笠沙フェスタ」において、陸上自衛隊第12普通科連隊(国分駐屯地)の支援を受けて、午前8時30分の漁船パレードをスタートし、祝い餅投げ、ドラゴンボート競争、舞台芸能、漁師鍋の振る舞い、小学生のプログラムのつかみ取り大会、お楽しみ抽選会等のプログラムが盛り沢山のなか、軽装甲機動車及び73式小型トラックの装備品の展示、ミニ制服試着コーナーの設置等、笠沙町自衛隊家族会の協力を得ながら、自衛官募集用のポケットティッシュと自衛官候補生2次募集のチラシを配布して、募集広報活動を実施しました。また、マスコットキャラクターの「まもる君」がプログラムの内容に応じて、ドラゴンボート競争やブリのつかみ取りの応援を行い、イベント中での地域市民との触れ合いを重視して、自衛隊の広報に勤めました。



装備品展示の様子



ドラゴンボート競争の応援をする「まもる君」

今回のイベントへの参加は、知覧分駐所としては初めてであり、南さつま市観光課の協力で実現しました。初めての自衛隊の参加ということで、地元市民をはじめ、小、中、高生が興味深く募集ブースに集まって来て、自衛隊家族会長や広報員の話を中心に聞いていました。

南薩地区は、自衛隊の駐屯地や基地が無く、自衛隊の認知度が非常に低い地域です。今後も様々な新規開拓を実施して、自衛隊の認知度の低い南薩地区に自衛隊の魅力を積極的に広報することにより、入隊者を1人でも増やし、更に減少している自衛隊家族会会員を1名でも増やしていきたいと思えます。



リクン

鹿地本3兄弟



カイクン



コウクン



鹿児島中央駅での総出募集の様子



天文館での総出募集の様子

従来から出張所等の活動にご協力いただいていたが、今後もご協力を得て、自衛隊鹿児島地方協力本部の募集目標の達成を期したいと考えております。

今回の活動の励みとなりました。

今回、実施場所の選定の段階から、自衛隊家族会の方の助力をいただきました。また、配布に際して、募集相談員や隊友会の方々にも早朝からご協力いただきました。自衛隊鹿児島地方協力本部と各協力団体との間で、自衛官募集に関して厳しい情勢であるという問題意識の共有と募集に係る協力活動が出来たことは、今後の活動の励みとなりました。

平成29年度第3回駐屯地援護会同教育支援(国分)

国分援護センター

国分援護センターは、10月10日(火)に、国分駐屯地で行われた「平成29年度第3回駐屯地援護担当者会同」を支援しました。

本会同は、国分駐屯地に所在する各部隊等の援護担当者30名に対し、最新の雇用情勢や県内の職業別求人状況及びハローワークにおける求人情報の現状として、鹿児島県内の平均賃金の現状について情報提供をするとともに、日常の健康管理について注意喚起を促し、自衛隊を退職してから企業へ再就職するまでの間の健康面における注意点や体力の維持増進の必要性について、周知徹底を図りました。

また、定年制及び任期制の退職予定隊員の現在までの就職援護状況に係る情報を提供し、順調に再就職活動が進行していることを、中隊長等に報告し、理解を得ました。

更に、今回は、予備自衛官班長から、予備自衛官制度について、最新の現状と制度の説明を実施し、退職



平成29年度第3回駐屯地援護担当者会同の様子

予定者の予備自衛官への志願の促進について、各部隊長及び援護担当者への理解と協力を依頼しました。

国分援護センターは、今後とも駐屯地援護担当者と緊密に連携し、就職援護に関する最新の情報提供及び情報共有を行い、退職予定隊員が安心して第二の人生を歩むことができるとともに努力してまいります。

P2V墜落事故から55年 奄美大島くれないの塔で慰霊式

奄美大島駐在員事務所

奄美大島駐在員事務所は、9月10日(日)に、奄美市らんかん山の「くれないの塔」で実施された慰霊式に参加しました。らんかん山は、昭和37年9月3日、海上自衛隊鹿屋航空基地所属の対潜哨戒機P2Vが、鹿児島県知事要請により、輸血用血液を奄美大島へ緊急空輸中に墜落して、地域住民1名を含む13名が犠牲となった事故が発生した現場です。

くれないの塔は、事故の翌年、奄美大島青年会議所が中心となり、募金活動などを展開し、市民などから募った寄付金を基に建立された慰霊碑であり、その3本の塔はプロペラをかたどったもので、現在、墜落したP2Vの車輪も設置されています。

奄美市は、この事故の起きた9月3日を「献血の日」と定め、毎年慰霊式が実施されています。

当日の慰霊式には、海上自衛隊鹿屋航空基地から第1航空群司令(中村 敏弘 海将補)以下6名の隊員が参加し、あいさつにおいて、「今から55年前の、我々の先輩が奄美の人を救いたいという強い思いを、これからも受け継いでいきたい」と甲意を述べました。

また、地元のラジオ局である「あまみエフ



集合写真

エム」のインタビュー取材にも適切に応じて、海上自衛隊の活動に対する理解と海上自衛官の募集に係る協力を呼び掛けました。

式典では、鹿児島県隊友会奄美支部の多数の会員等が参列する中、奄美大島青年会議所の司会進行のもと、献花や焼香を捧げて哀悼しました。また、鹿屋航空基地よりP-3C哨戒機による慰霊飛行も行なわれ、参加者は「惨事の記憶を風化させず、これからも後世に伝えていきたい」と語りました。

現在、奄美大島青年会議所、鹿児島県隊友会奄美支部及び自衛隊鹿児島地方協力本部奄美大島駐在員事務所を中心に、年に数回、慰霊碑周辺の清掃作業を実施するとともに、作業終了後には、全員で冥福を祈る黙祷を行なっています。

募集課 総出募集

自衛隊鹿児島地方協力本部は、平成29年11月6日から10日の間、自衛官候補生募集のため、本部員による総出募集を実施しました。募集課のみならず、全課室員を動員し、鹿児島中央駅の桜島口、西口と、天文館本通の3箇所において、朝夕の2回街頭に立ち、自衛官募集のためのチラシを封入したティッシュを配布しました。売り手優位の就職市場という情勢下において、公務員全体の人気下がっている中、自衛官候補生の募集を広く周知するだけでなく、自衛隊そのものを広報する目的で、自衛官は制服で街頭に立ちました。県内に3つの駐屯地、基地を持つにもかかわらず、鹿児島市内では自衛官を見る機会が少ないという特性や、配布素材が陸上自衛隊の迷彩柄プリントのポケットティッシュという物珍しさもあり、多くの方に配布することができました。同時に各出張所等も、近隣の駅、フェリー乗り場等で広報活動を行っており、広域で自衛官候補生の募集を実施できました。

今回、実施場所の選定の段階から、自衛隊家族会の方の助力をいただきました。また、配布に際して、募集相談員や隊友会の方々にも早朝からご協力いただきました。自衛隊鹿児島地方協力本部と各協力団体との間で、自衛官募集に関して厳しい情勢であるという問題意識の共有と募集に係る協力活動が出来たことは、今後の活動の励みとなりました。

従来から出張所等の活動にご協力いただいていたが、今後もご協力を得て、自衛隊鹿児島地方協力本部の募集目標の達成を期したいと考えております。

平成29年度南極の氷の贈呈式

広報企画室

錦江町立大原小学校
(9月11日)

和泊町立和泊小学校
(9月5日)

肝付町立高山小学校
(10月3日)

大崎町立野方小学校
(9月20日)

自衛隊鹿児島地方協力本部(以下「鹿児島地本」という)は、第58次南極観測支援を終えた海上自衛隊砕氷艦「しらせ」の持ち帰った「南極の氷」を活用した「南極の氷の贈呈式」を、9月5日(火)に沖永良部島和泊町立和泊小学校(全校生徒245名)、同月11日(月)に錦江町立大原小学校(全校生徒17名)、同月20日(水)に大崎町立野方小学校(全校生徒78名)、10月3日(火)に肝付町立高山小学校(全校生徒441名)において実施しました。

報道機関による取材は、そのうち2校で、1つ目は和泊小学校であり、今年度唯一の離島での贈呈式でした。地元ケーブルテレビ局1社、新聞社1社が取材に訪れ、翌日の報道で紹介されました。

2つ目は大原小学校であり、今年度鹿児島県本土では初となる「南極の氷の贈呈式」であることから、テレビ局2社、新聞社2社が取材に訪れ、翌日の報道で紹介されました。

どの小学校の生徒も、南極の話詳しく聞くのは初めてのようであり、興味津々で話を聞いていました。特に、南極の氷の厚さが最大で4,500m以上あるということを簡単に想像できるように、桜島(正式名称・御岳、標高約1,177m)を例にとり、桜島4つ分の氷が大陸の上に乗っているという説明を実施したところ、生徒達は容易に想像できたよう

とても驚いていました。南極に係る説明が終わった後、実際に「氷に触れる体験」の時間になると、待ちきれなかったと言わんばかりの歓声が上がりました。今年度も、「南極の氷」と「通常の氷」の違いを体験してもらうため、南極の氷と同様の大きさの通常の氷を用意したことにより、生徒達は、見た目だけでなく、南極の氷の特殊さ(数万年前に閉じ込められた空気が弾ける音など)を体感していました。

今回は、南極に生息するペンギンや、アザラシ、自然現象のオーロラを観に行きたいという気持ちで、自衛隊に興味を持った数名の生徒が、自衛隊に入りたいと質問に来てくれました。これは「南極の氷の贈呈式」による大きな成果であり、大変有意義であったと実感しております。このような機会を有効に活用し、鹿児島県民に対して、幼少の頃から自衛隊の理解を深めていくことが大切であると考えます。

鹿児島地本は今後も、鹿児島県教育委員会と調整して、この「南極の氷の贈呈式」を鹿児島県下の小学校へ継続して実施していくことにより、自衛隊を身近に感じてもらうとともに、その機会を有効に活用し、募集基盤の形成の強化に繋げていきます。

平成29年度自衛官等募集案内

採用種目	受付期間	試験日	応募資格
自衛官候補生	第3回:12月18日~30年1月19日	第3回:30年2月3日~4日	平成30年4月1日現在18歳以上27歳未満の者
高等工科学校生徒	推薦:11月1日~12月1日	1次試験:30年1月6日~8日 ※いずれか1日を指定されます。	男子で中卒(見込)平成30年4月1日現在17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者
	一般:11月1日~30年1月9日	1次試験:30年1月20日	男子で中卒(見込)平成30年4月1日現在17歳未満の者

お問い合わせ先

本部	郵便番号	住所	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	890-8541	鹿児島市東部元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎内	099-253-8920 (代表)

事務所名	郵便番号	住所	電話番号
鹿児島募集案内所	890-0045	鹿児島市武1-10-15 田中ビル2F	099-251-7802
知覧分駐所	897-0302	南九州市知覧町6204 南九州市役所内	0993-83-1811
薩摩川内出張所	895-0024	薩摩川内市鳥追町5-1 ヤマトビル2F	0996-22-2401
国分地域事務所	899-4332	霧島市国分中央6-1-5	0995-45-1836
鹿屋地域事務所	893-0064	鹿屋市西原4-5-1 鹿屋合同庁舎内	0994-42-4386
大隅地域事務所	899-8102	曾於市大隅町岩川6491-2 大隅合同庁舎内	099-482-1405
奄美大島駐在員事務所	894-0023	奄美市名瀬永田町17-3 鹿児島県大島支庁別館2F	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	891-3101	西之表市西之表16314-6 種子島合同庁舎内	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	891-7101	大島郡徳之島町亀津553-1 徳之島合同庁舎内	0997-83-3080

ぼく、わたしのお父さん

父:稲村 3 曹 (鹿児島募集案内所)
 作文:長女(小2) 稲村 水玖(みく)さん



右:次男 太志(たいし)くん(中3)
 左:長女 水玖(みく)さん(小2)

新婚さん紹介

広報企画室 長野 1 曹:奥様 なつ子さん



入籍:29.8.17

思いやりと感謝を忘れず、
 お互いに支え合いながら、
 楽しい家庭を築いて
 いきたいです。

人事往来紹介

転出者

自衛官

- 2等陸佐 西木場 秀規
募集課長から九州補給処(自連原)へ
- 3等陸佐 新納 敏矢
奄美大島駐在員事務所長から西部方面総監部(健軍)へ
- 1等陸曹 福田 広志
薩摩川内出張所から第12普通科連隊(国分)へ
- 1等海曹 大迫 幸二
鹿児島援護センターから鹿屋航空基地隊(鹿屋)へ(29.9.20 定年退職)
- 1等海曹 美坂 昇洋
薩摩川内出張所から第211教育航空隊(鹿屋)へ
- 1等陸尉 福元 力人
鹿児島募集案内所長から福岡地方協力本部(福岡)へ

転入者

- ①出身地(都道府県) ②趣味 ③何か一言(抱負など)

自衛官

- 2等陸佐 竹迫 孝一
自衛隊福岡地方協力本部(福岡)から募集課長へ
①鹿児島県 ②史跡・遺跡めぐり、薬丸野太刀自願流 ③地元で勤務できる事に日々感謝の気持ちと誇りを忘れる事なく任務遂行に向け邁進します。
- 1等陸尉 松永 保
自衛隊大分地方協力本部(宇佐)から奄美大島駐在員事務所長へ
①長崎県 ②ビデオ鑑賞(邦画、時代劇) ③全所員とともに、与えられた任務を完遂できるように一生懸命頑張っていきます。
- 1等陸尉 前原 勝志
第48普通科連隊(相馬原)から即応予備自衛官班長へ
①鹿児島県 ②ウェイトトレーニング ③真心をもって真摯に取り組む所存です。
- 准海尉 野田 博久
鹿屋航空基地隊(鹿屋)から鹿屋地域事務所へ
①鹿児島県 ②ゴルフ ③地元で根付いた募集活動に邁進したいと思います。
- 陸曹長 中島 万賀
第12普通科連隊(国分)から国分援護センターへ
①宮崎県 ②神社・温泉巡り、DIY ③真心のこもった就職支援ができる援護マンになれるよう、笑顔絶やさず前向きに頑張ります。
- 1等陸曹 松元 貴
第8施設大隊(川内)から薩摩川内出張所へ
①鹿児島県 ②園芸、魚釣り ③元気に、明るく、前向きに頑張ります。

配置替

- 准陸尉 渡邊 博文
鹿屋地域事務所から募集課へ
- 2等陸曹 阿久根 裕美
広報企画室から募集課へ

定年退職者

- 29.9.19 澤山 英樹 退職時:陸曹長
- 29.9.21 津曲 博己 退職時:准陸尉
- 29.10.26 福崎 由郎 退職時:2等陸尉
- 29.11.16 渡邊 博文 退職時:3等陸尉
- 29.12.1 井上 一夫 退職時:陸曹長

退職者

- 29.10.31 今村 元彦 退職時:3等海佐